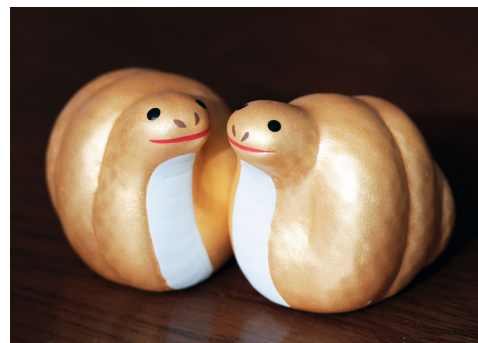


新たな挑戦へ

お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は大変お世話になり誠にありがとうございました。
特に衆議院解散総選挙の際には多大なるご支援、ご協力をいただき感謝しております。



その後の私の動きについて、先ずはご報告申し上げます。

(公職選挙について)次期衆議院選挙には立候補しません。

平成2年の横浜市会議員初当選以来3度挑戦し3回当選、

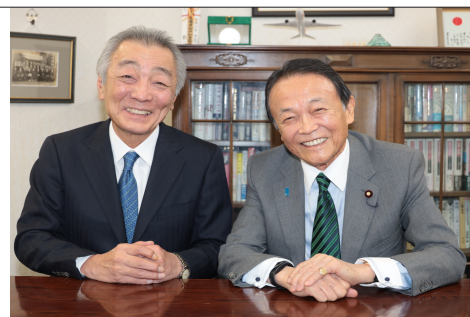
平成8年に衆議院議員総選挙で初当選して以来7回当選を果たすことが出来ました。足掛け通算13戦(市議3回、衆議10回)、34年間という長きにわたる活動でした。この間、数えきれない多くの仲間たちに支えていただきました。

「ありがとう」と何度口に出しても足りません。感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年とその前の選挙で2連敗を喫してしまいました。自らの力不足を恥じ、この結果をけじめに、次期衆院選に神奈川1区からの出馬を断念する決意をしたところです。

政治活動は継続します

(今後の政治活動) 政治家として政治活動は継続します。
松本に残された時間は、麻生太郎、志公会運営、若手国会議員育成、各省庁との連携強化、医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめ関係諸団体、地域の皆様に捧げ、これまでの経験と人脈を活かして積極的な政治活動を展開し、国家・国民に貢献してまいります。



具体的な活動は、

- 自民党最高顧問麻生太郎特別補佐に就任し、麻生太郎先生をお支えします。
- 麻生太郎政策集団・志公会参与に就任し、運営と若手議員の育成に尽力します。
- 未来を担う若手国会議員(超派閥)との交流を持ち、若手国会議員勉強会を設置し、国家経営を学びます。
- これまで培った各省庁との幅広い人脈を活かし各種政策実現に関与します。
- 日本医師連盟委員長特別補佐、日本歯科医師連盟嘱託、日本薬剤師連盟特別参与などに就任し、診療報酬改定・医療制度改革など医療福祉の専門家としての経験を活かします。
- 故郷横浜を守る、明るく元気な故郷を築くために、地元の暮らしや生業など地元要望等に応えます。

日本のための国家経営論を創り上げてゆきます

私は、中央政界で得た知見を後世の政治家たちに伝えるべく、若手議員の育成に務めてゆきたいと考えています。国会対策委員長代理を務めたことで、派閥や年齢の垣根のない友人ができ、その多くが現役議員として活躍しています。

今、日本に必要なのは、国家100年の計を見据えたわが国の未来像です。麻生先生が唱えた日本の外交戦略「自由と繁栄の弧」は、故安倍総理に引き継がれて「自由で開かれたインド太平洋」となり、世界の自由社会の目標として今も大きな輝きを放っています。我々はこれを引き継ぎ、日本を、そして日本人を豊かにしてゆかなくてはなりません。



国家に必要なものは何か？ 今の政治に必要なものは何か？ これを考えるのが政治家の仕事であり、次世代育成の鍵であると考えていました。先日、麻生先生とご一緒した時、その一つの解を与えられ、同時に宿題を頂戴しました。

それが『**国家経営論**』です。米国ではトランプという実業家が大統領に再選し、そしてテスラのイーロン・マスクという発明家であり経営者がある腹心として活躍する時代になっています。彼らに共通するのは、国家を経営するという概念であり、ビジネスマンの視点で捉える政治運営なのです。

麻生先生は昨年のトランプ氏との会談の中で、同じ実業家出身ということで様々な点で共感を持つことができたとおっしゃっていました。これからの政治に求められるのは、国家をマネジメントすること、これは政治家だけができる仕事であるといえるでしょう。

確かに、**国家**というのは巨大な組織であり、**大企業**の構図に類似しています。成功している大企業と衰退してゆく大企業、そこにどのような違いがあるのか？また、日本という文化と歴史に照らし合わせ、日本にとって必要な企業像はどのようなものであるのか？日本人を従業員と考えた場合、従業員の所得を引き上げ、満足させるには何をしたらよいのか？これを考え実現に向けて動くのが**国家経営論**であると私は考えます。

より多くのことを学びたい、視野を広げたい、というやる気に満ちた議員が沢山います。彼らの思いに答えるべく私の知見を伝え、繋いでいくとともに、次の日本のための経営論を創り上げてゆきたいと考えています。それが私に与えられた責務であり、ご支援いただいている方々への恩返しだと思っています。

松本純はこれからも、そして、これまで以上に走り続けます。



新たな政治活動を展開・維持するために、下記に事務所を設置し活動を継続します。

松本純事務所 代表 松本 純

〒231-0064 神奈川県横浜市中区野毛町2丁目65番地

電話045-241-7800 FAX045-253-0585

※「まちかど政治瓦版」は「松本純レポート」として、可能な限り毎月発行し、重要な政策課題や国会の取り組みの状況について皆様にお伝えして参ります。

私のホームページ <https://jun.or.jp> から見ていただけるよう準備を進めて参ります。